

一般社団法人

山形県
建築
協会

2010.春
vol.11

『Atom』(あとむ)

『Atom』は「architecture=建築」と「tomorrow=明日・未来」を組み合わせた造語です。協会が発足した2003年は、あのアトム誕生年。本誌も、アトムにあやかり時代を超えて愛され、活用される広報誌であり続けたいとの願いをこめて、このネーミングといたしました。

山形県建築協会会長

相田 晃 輔

当協会会員の皆様、日頃は当協会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。私、二代目会長として足かけ4年目に入ったところでありますが、これまで当協会を維持することができましたのも、賛助会員の皆様を含む会員の皆様、そして事務局の方々並びに関係各位のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

昨年は法改正に伴い、有限責任中間法人から一般社団法人への移行をいたしまして、より動きやすい組織形態となったと思っておりましたが、前年同様当協会の主旨、目的に資する事業活動があまり出来なかったのは自分の不徳の致すところであります。この場をお借りし、お詫びを申し上げます。

かくして、政権交代や長引く地域経済の低迷など我々業界を取り巻く環境は更に混迷、厳しさを増すばかりでありまして、こう言うときこそ協会組織をあげ、単独では出来ない業界ぐるみの団体活動を行わなければならないものだと思う次第であります。

さて、もはや我が業界の厳しさを改めて私の様な者からあげつらってもあまり意味がありませんのであえて触れませんが、私自身様々な情報が怒濤のように飛び交う中から感じているのは、我が業界のみならず、日本そのものあるいは世界が大きな転換点に立ち、現在は産みの苦しみの最中にあると言った状況ではないかと思っております。もっと言えば、たった今現在はまだ本当の苦しみには入っておらず、本当の混乱・苦しみはこれからなの

ではないだろうかと大変不安に思っているというのが正直なところであります。

しかし、これから起こるであろう混乱、大変革の時を経なければ次の新しい秩序が生まれて来ないのだろうと思うと、逆に自分は面白い時代に生きているのではないかと思えてくるから不思議です。

しかし、目の前はそんなのきな事は言っておれない状況ですので、時代のうねりに飲み込まれないようにしていかなければならないと、皆さんと共に心を引き締めていかなければならないと思っております。そして、備えあれば憂い無しであります。何をどのように備えればよいのか、ご存じの方は是非ご教授願いたいと存じます。

このように世の中が大きく変化しておりますし、手をこまねいては座して死を待つようなもので、目の前にある状況を改善すべく関係行政当局や政権政党への要望活動を、関係他団体とも手を携えて行っていかなければならないと思っております。そして、力を結集するためにも協会内部の親睦が背景になければならないと思っておりますので、数少ない事業ながらも各種親睦活動に対し、会員各位のご理解と参画をを宜しくお願い申し上げます。そして、その「和」のもとに要望・提言活動を行って参りたいと考えております。

昨年も書かせていただきましたが、今までの常識、流れで必要な部分は活かしつつも、これからの時代に合うやり方で業界団体として存続し、活動していかなければなりません。前述のように変化の大きい時代でありますので、当協会も変化に対応しやすい形に変化させていながら、少しでも会員各位の事業に資する活動をしなければと思っております。

そして、繰り返しになりますが、会員の皆様には、当協会の目的に合致するものであればいつでも、何でも、アイデアを出していただき、実行して参りたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

是非、当協会を各社各様に活用して自社の事業発展の糧にさせていただきたいと存じます。

同じ様なことをくどくどと申し上げましたが、これからも会員各位、各社のご奮闘とご発展を心より祈念し、加えて当協会に対する今後のご協力も併せてお願い申し上げ、新年度号における会長の挨拶とさせていただきます。



講演会 「政権交代 平成の大改革」

日時 平成21年12月11日(金)
場所 パレスグランデール



講師
衆議院議員
予算委員長 鹿野道彦氏

昨年 of 劇的な政権交代。国民の大きな期待の中に誕生した民主党主体の連立政権。民主党の中枢にあり、衆議院予算委員長の重職を努める鹿野道彦代議士を講師に迎え、『政権交代 平成の大改革』と題した講演会を、12月11日、パレスグランデールにおいて開催しました。

政権が交代し、選挙公約でもある『平成の大改革』が断行される場合の、地方経済と建築業界への影響を、分かりやすく講演していただきました。

当協会としても大いなる期待と希望を持って、時に厳しく、この政権を見守りたいと思います。



会員親善ゴルフ大会・ ビアパーティ

日時 平成21年8月7日(金)
場所 親善ゴルフ大会 山形ゴルフクラブ(山辺町)
ビアパーティ ホテルメトロポリタン山形(山形市)



平成21年8月7日(金)、毎年恒例となった会員親善ゴルフ大会が山形ゴルフクラブにおいて開催されました。当日はあいにくの小雨模様で始まりましたが、熱戦のお陰か雨も上がり、盛夏の中過ぎしやすいラウンドとなりました。優勝は株式会社タカハシ電工の高橋勝治社長、ベストグロス賞は有限会社ワタナベ金属工業の渡邊賢次郎社長が獲得しました。

大会終了後、ホテルメトロポリタン山形において、授賞式を兼ねたビアパーティが開催され、親睦を深めました。

大会の準備・運営に奔走していただいた企画情報委員会の皆様、ありがとうございました。

住宅リフォーム等の促進に係る意見交換会

日時 平成22年6月1日(火) 場所 山形建築会館
出席者 山形県建築住宅課 大江住宅環境整備主幹 野口建築物耐震化主幹
山形県建築協会 相田会長・市村副会長・高橋副会長・千歳副会長・井上理事・佐藤理事

平成22年6月1日(火)、山形県建築住宅課の大江主幹・野口主幹を迎えて意見交換会が開催されました。

主な議題は、「住宅リフォームの促進について」「住宅エコポイント制度の影響について」「住宅の耐震改修について」「県産木材の活用促進について」。昭和40年レベルといわれる住宅不況と公共事業の激減による業界の厳しい現状、課題、打開策、そして行政の取り組み等、活発な意見交換がなされました。

山形県建築協会としてもこのような機会を積極的に設け、諦めず、声を上げ続けてまいります。



建築確認手続き等の運用改善について

建築確認審査の迅速化、申請図書の簡素化、厳罰化の観点から、制度の見直しの検討を行うため、実務者や関係団体から幅広く意見聴取を行ってきたところであり、建築確認手続き等の運用改善については、6月より施行されました。

運用改善の内容

< 確認審査の迅速化関係 >

1. 確認申請図書の補正の対象の拡大等(告示改正)

確認申請図書の補正の対象は、軽微な不備(誤記、記載漏れ等)とされているが、これを不備(申請者等が記載しようとした事項が合理的に推測されるもの)とする。また、補正にあたっては、適合するかどうかを決定できない旨の通知書の交付や確認審査報告書の特定行政庁への報告を不要とする。

2. 確認審査と構造計算適合性判定審査の 並行審査を可能とする見直し(告示改正)

構造に係る確認審査後に構造計算適合性判定を求めることとされているが、当該確認審査を終える前においても、構造計算適合性判定を求めることができることとする。

3. 確認審査等の報告に係る チェックリスト告示の簡素化(告示改正)

指定確認検査機関が確認済証等を交付した後に特定行政庁へ提出するチェックリストを大幅に簡素化する(項目を約9割減とする)。

4. 「軽微な変更」の対象の拡大 (規則改正・技術的助言等)

計画の変更に係る確認を要しない「軽微な変更」の対象は、安全上の危険の度等が高くない一定の変更とされているが、これを建築基準関係規定に適合することが明らかな一定の変更とする。また、「軽微な変更」の適用可能な具体事例を提示し、運用の徹底を図る。

5. 大臣認定変更手続きの迅速化

超高層建築物等の構造計算や避難安全検証法等に係る大臣認定の変更手続きについて、迅速化を図る。

6. 審査期間短縮及び審査バラツキの是正 (技術的助言等)

構造計算適合性判定の対象物件については、現在の審査期間の半減を目指し、審査期間短縮に係る目標を設定するとともに、取組方針及び公表方法を「建築行政マネジメント計画」(仮称)の策定指針として発出する。また、各機関に苦情窓口の設置とそれを通じた審査のバラツキ把握及び審査員への指導等の取組みを要請する。

< 申請図書の簡素化関係 >

1. 構造計算概要書の廃止(規則、告示改正)

確認申請図書のうち、構造計算概要書を廃止する。

2. 建築設備に係る確認申請図書の簡素化 (規則、告示改正等)

- (1) 非常用照明装置に係る技術的基準の見直しを行うとともに、非常用照明装置の構造詳細図を提出不要とする。
- (2) 水洗便所の構造詳細図を提出不要とする。
- (3) 排水のための配管設備に係る技術的基準の見直しを行うとともに、排水トラップの構造に係る構造詳細図を提出不要とするなど、配管設備に係る図書の簡素化を行う。
- (4) 換気設備の構造詳細図を簡素化する。

3. 建築材料・防火設備等に係る大臣認定書の省略 (技術的助言等)

建築材料(防火材料、シックハウス建材)、防耐火構造、防火設備、区画貫通の管及び遮音構造について大臣認定データベースの登録を義務化することにより、審査側が大臣認定書を参照できる環境を整備し、確認申請における大臣認定書の写しの添付の省略を技術的助言等により徹底する。

< 厳罰化関係 >

1. 違反設計等への処分の徹底

「建築行政マネジメント計画」(仮称)の策定指針に、中間・完了検査の徹底、違反建築物対策の推進を盛り込み、違反設計等への処分を徹底する。

2. 広範なサンプル調査を実施

違反建築物対策を推進するため、広範なサンプル調査を実施する。

< その他関係 >

1. 小規模な木造戸建て住宅等(4号建築物)に係る確認・検査の特例について、当分の間継続する。
2. 既存不適格建築物の増改築に係る特例の見直し(平成21年国土交通省告示第891号等)について、周知徹底を図る。
3. 住宅性能評価及び長期優良住宅の認定についても申請図書の簡素化を図る。(規則、告示改正等)

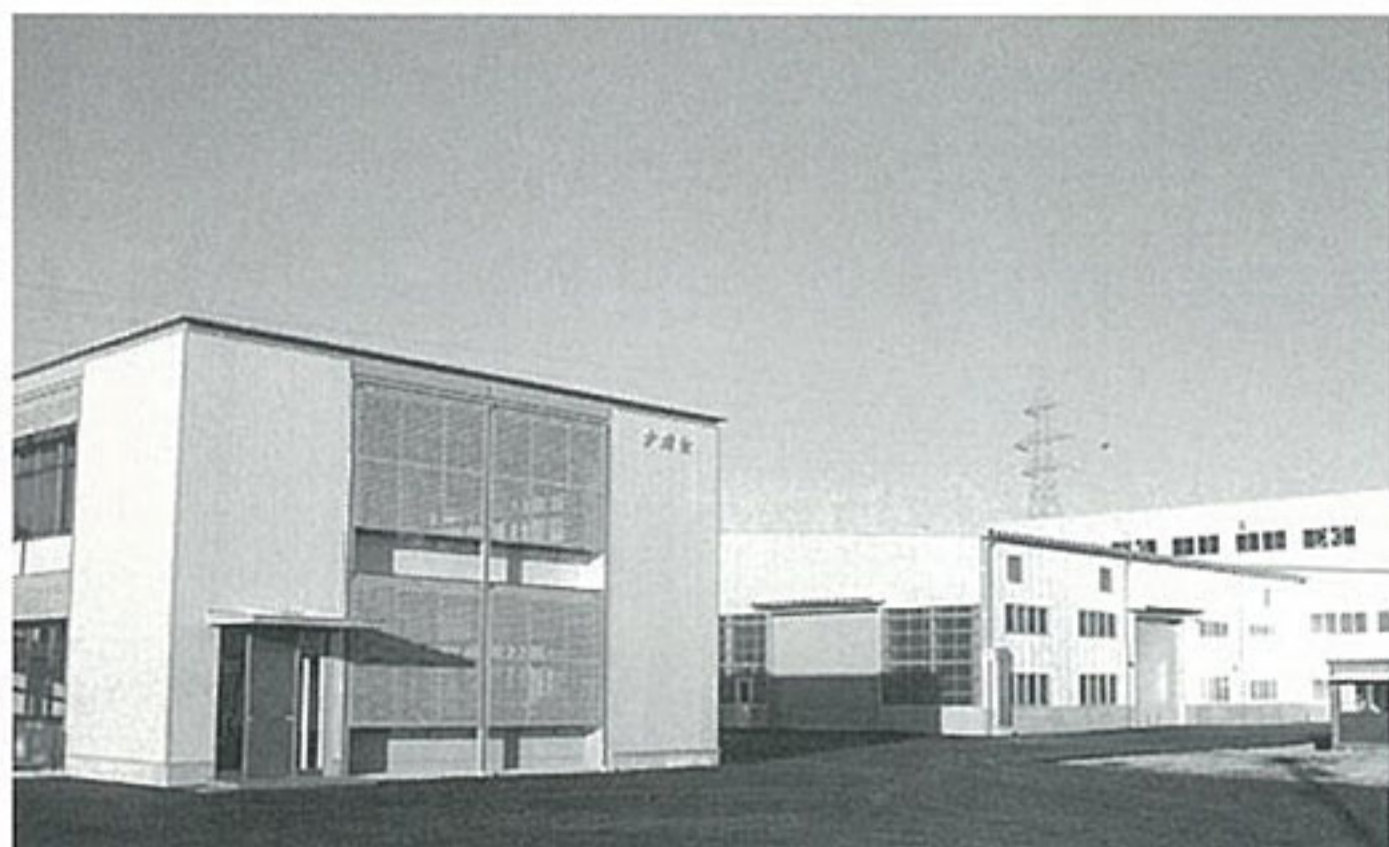
賛助会員企業

Get! Best Partner!!

vol.5

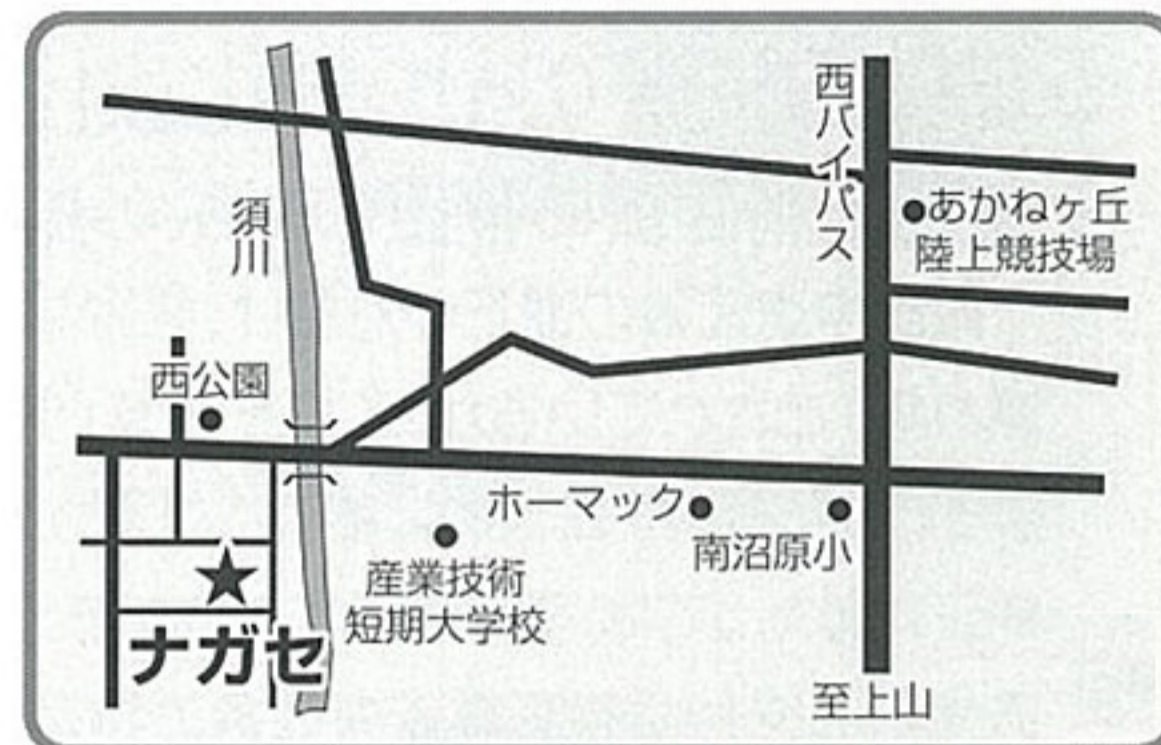
株式会社ナガセ

事業内容：建設業における製作金物工事・鉄骨工事、免震・耐震補強工事、管工事、チタン・ステンレス・アルミ他・あらゆる金属の溶接、接合



私たちナガセは高い技術と創造性豊かな企業を目指し、日夜努力しています。素材(原材料)の性質、施工性、そして設計者の意図を理解し表現することが私たちの仕事です。

また、私たちはハードの中にアートを盛り込みます。山形県の風物詩ともなった『日本一の芋煮鍋』の製作、『べにばな国体』の炬火台螺旋階段、交通安全免許センター、宮城県美術館(彫刻館)等、その機能性と芸術性において高い評価をいただいております。技術職人が造る高い品質の物造りを致します。



〒990-2345 山形市富神台10
TEL (023) 645-5211 FAX (023) 643-2647
URL <http://www.c-nagase.co.jp>

設立：昭和29年9月
代表者：代表取締役 長瀬 健一
従業員：21名

株式会社西村工場

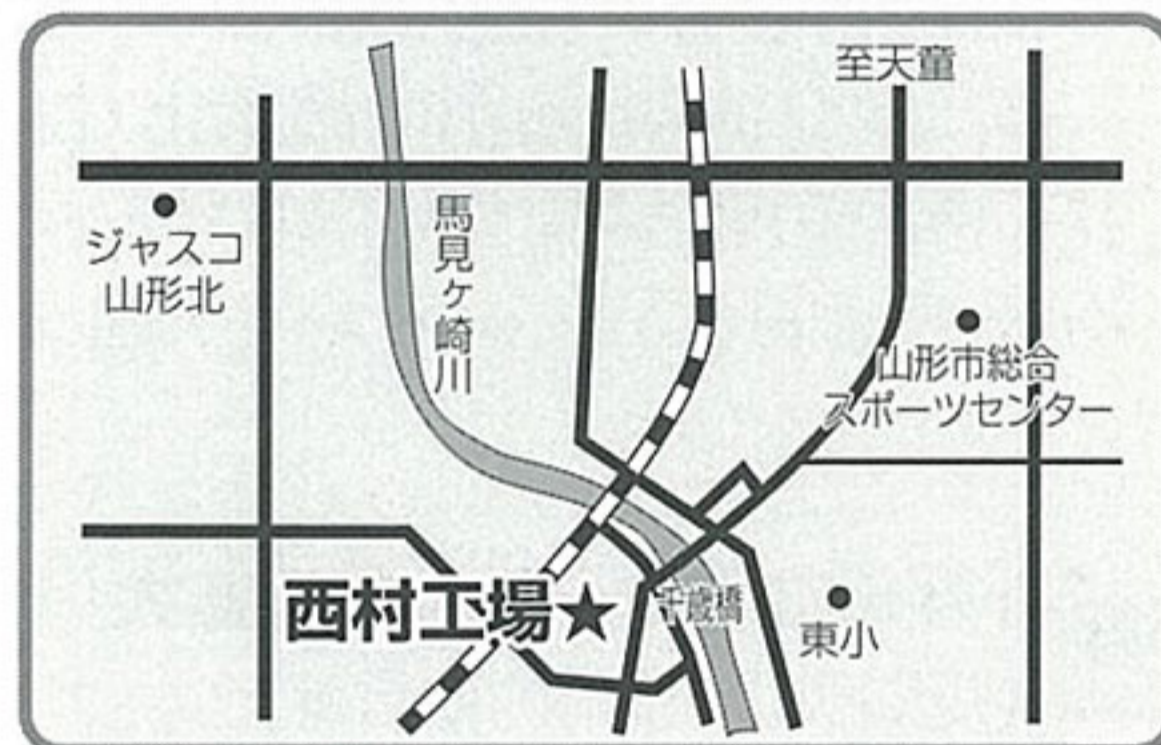
事業内容：鋼製建具・硝子入甲防・防音ドア・アルミニウム製建具・建築金物工事、暖冷房空調設備・換気設備・給排水衛生設備・上下水道設備・消火設備・各種管工事設計施工、クレーン・リフト・特殊機械製作、銅像・美術工芸品・記念品・銘板製造、金庫・事務用品販売、内装工事



当社は、この銅町で鋳物師としてスタートしました。

その後、金庫の製作・販売を経て、現在は金物・サッシの製作・工事、各種設備の設計・施工から銅像・美術工芸品等の製作、特殊機械の製作、そして内装工事まで、幅広く事業を展開しております。

永年培った加工技術を活かし、特に金属加工の分野では、あらゆる面で皆様のお役に立てると思っています。お気軽にご相談ください。



〒990-0051 山形市銅町1-6-32
TEL (023) 622-2325 FAX (023) 623-0218
URL <http://www4.plala.or.jp/takadenko>

設立：昭和34年7月
代表者：代表取締役 西村 宜真
従業員：54名

株式会社東照電気

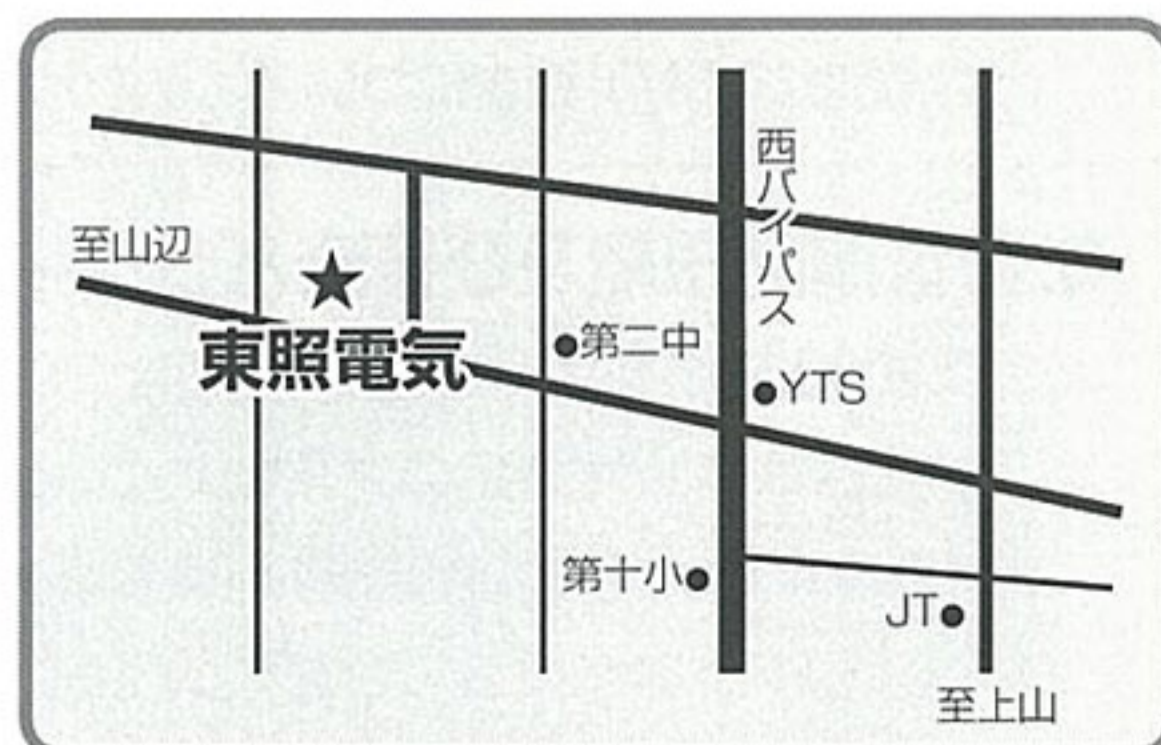
事業内容：電気設備・照明設備の設計・施工、情報通信関連工事、防災警報設備・空調設備工事、その他OA機器・家庭電化製品・各種照明器具取扱



照明器具販売会社として昭和50年に創業しましたが、ニーズの変革に対応すべく、昭和59年に電気工事を主体とした事業の転換を図り、以来お客様に支えられて今日を迎えています。

現在は、電気設備工事、空調設備工事、LAN設備工事、照明器具販売等を手がけています。

お客様に喜んでいただけるサービスを提供すべく、全社員、技術向上に力を注いでいます。



〒990-0852 山形市黄金74-4
TEL (023) 647-8066 FAX (023) 647-8068
URL <http://www.tosho-denki.co.jp>

設立：昭和50年4月
代表者：代表取締役 長沢 一好
従業員：26名

株式会社ホシカワ



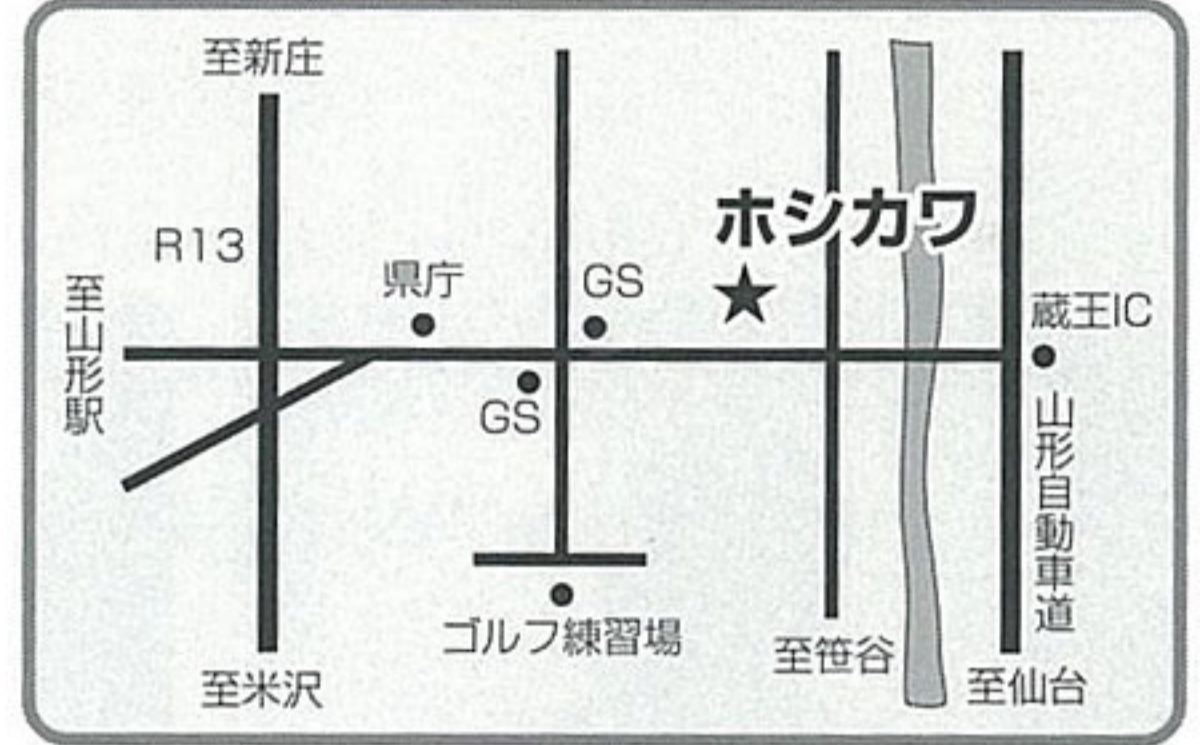
〒990-0022 山形県山形市東山形一丁目6番26号
 本社TEL (023) 632-2166 FAX (023) 632-7219
<http://www.liberty-it.net/hosikawa/>

事業内容：屋根工事 防水工事 外壁工事

昭和41年の設立以来、屋根工事の専門業者として寺社などの、銅板工事から始まり工場等の大型物件へとその時代のニーズに対応し多くの建物の施工をおこなってきました。

近年では、シート防水などの防水工事や金属パネル等の外壁工事そして、太陽光発電屋根など新しい技術や工法を積極的に取り入れております。

建物の基本機能である「雨・風から人を守る」を第一と考え、品質にこだわりお客様に喜んでいただける建物を作る事を使命とします。



設立：昭和41年4月
 代表者：代表取締役 社長 星川 拡一
 従業員：19名
 工場：山形本社 天童工場 仙台営業所

株式会社マルシゲ



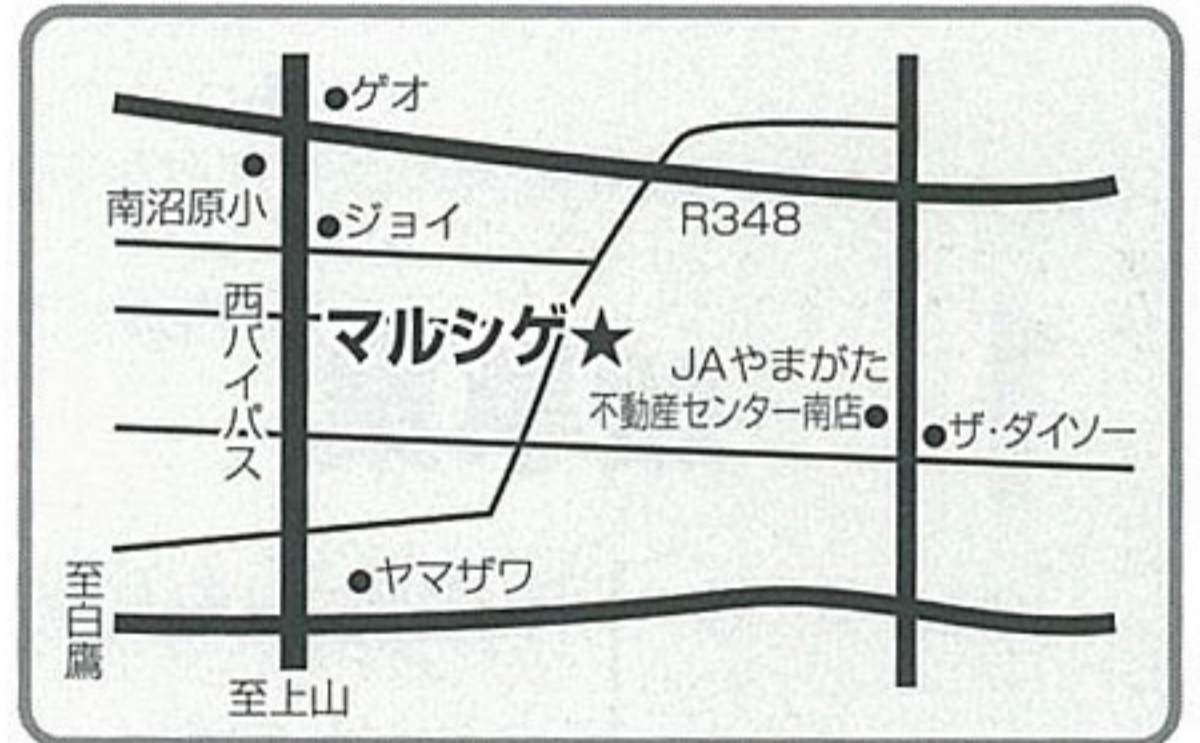
〒990-2461 山形市南館5-8-42
 TEL (023) 644-4358 FAX (023) 644-4354
 URL <http://homepage2.nifty.com/marushige>

事業内容：左官工事、外壁改修工事、吹付・塗装工事、漆喰特殊工事、防水工事、GL工事、タイル工事、シーリング工事、耐火被覆吹付工事、防食工事

当社は左官工事を中心として外壁改修工事、漆喰工事、吹付工事、塗装工事、防水工事、耐震工事等、建築物の仕上げ(主に湿式仕上げ)を施工する、山形の元気な壁屋企業です。

創業100年を数え、「文翔館漆喰天井」修復、「山形城東大手門」復元など、数々の重要文化財等の工事に携わってきました。

これまで培ってきた技能・技術を追求し、さらに最新の技術も取り入れながら、壁のプロフェッショナルとして「進化」「新化」する左官屋企業です。



設立：昭和35年12月
 代表者：代表取締役 熊谷 一幸
 従業員：35名

::: 会員名簿

- 相田建設株式会社
- 愛和建设株式会社
- 株式会社市村工務店
- 株式会社井上工務店
- 株式会社大泉建設
- 株式会社大場組
- 荻野建設株式会社
- 小野建設株式会社
- 狩野工務店
- 有限会社笹原建業
- 株式会社高松木材
- 株式会社たくみ

- 株式会社千歳建設
- 株式会社千歳工務店
- 株式会社ニホン総建
- 株式会社沼澤工務店
- 株式会社藤建設
- 布施建設株式会社
- 本間建設株式会社
- 株式会社丸健
- 丸七建設株式会社
- 丸ト建設株式会社
- 有限会社丸与建設
- 山新建装株式会社
- 和興建設株式会社

::: 賛助会員

- 株式会社アイタ工業
- 株式会社アールテック
- 株式会社アベ硝建
- アユミ産業株式会社
- 株式会社稲田亀吉商店
- 遠藤設備建設株式会社
- 小笠原商事株式会社
- 株式会社北日本ハウジング
- 共立商事株式会社
- 黒澤建設工業株式会社
- 黒澤鐵筋有限会社
- 弘栄設備工業株式会社
- 株式会社高橋硝子店
- 株式会社タカハシ電工
- 株式会社竹原屋本店
- 東北電化工業株式会社
- トーエイ工業株式会社

- 株式会社ナガセ
- 株式会社西村工場
- 株式会社東照電気
- 株式会社広工務店
- 株式会社ホシカワ
- 株式会社マルシゲ
- 株式会社ムラヤマ
- 株式会社山形企業
- 山形ナショナル電機株式会社
- 山形三菱電機機器販売株式会社
- 株式会社ヤマケン
- 山建工業株式会社
- 山建設備株式会社
- 株式会社ヤマコン
- 株式会社ヤマト
- 株式会社ユアテック山形支社
- 株式会社吉田金物店
- 我妻建材工業株式会社
- 有限会社ワタナベ金属工業

平成21年度 事業報告



▲5.27 平成21年度 第7回 定時総会 (ホテルメトロポリタン山形)

1 一般事業

21. 4. 8	山形県立山形職業能力開発専門校入校式	(山形県立産業技術短期大学校)
4.22	やまがた県産木材利用センター通常総会	(山形国際ホテル)
5.13	山形県住宅建築物地震対策推進協議会第1回幹事会	(山形県庁)
5.21	山形県鉄構工業組合総会	(パレスグランデール)
5.22	(社)山形県建築士事務所協会通常総会	(パレスグランデール)
5.25	建築士会全国大会やまがた大会懇親会	(山形四山楼)
5.26	(社)山形県建築士会通常総会	(パレスグランデール)
6.10	省エネ住宅・省エネリフォーム意見交換会	(山形市市民活動支援センター)
7.24	山形県管工事業協同組合連合会創立40周年記念式典	(山形国際ホテル)
8.31	県産材使用住宅推進研究会	(山形県庁)
10.15	建築士会全国大会やまがた大会合同懇親会	(山形四山楼)
10.16	建築士会全国大会(やまがた大会)式典	(山形市総合スポーツセンター)
12.14	山形県と建築関係5団体との意見交換会	(村山総合支庁)
22. 1.19	山形県住宅建築物地震対策推進協議会総会	(山形県庁)
2.24	山形の家づくり大賞コンペ実行委員会	(山形県庁)
3.17	山形県立職業能力開発専門校修了式	(山形県立産業技術短期大学校)
3.24	山形の家づくり大賞コンペ実行委員会	(村山総合支庁)

2 総会、理事会、正副委員長・委員会会議及び委員会各種事業

21. 4. 9	平成20年度 正副会長・委員長会議	(山形建築会館)
5.12	平成20年度 第4回 理事会	(山形県高度技術研究開発センター)
5.14	平成20年度 総務委員会	(山形建築会館)
5.27	平成21年度 第7回 定時総会	(ホテルメトロポリタン山形)
5.27	平成21年度 第1回 理事会	(ホテルメトロポリタン山形)
7.14	平成21年度 第2回 理事会	(山形県高度技術研究開発センター)
8. 7	平成21年度 会員親善ゴルフ大会・ビアパーティーの実施 (参加者 ゴルフ大会 18名、ビアパーティー 31名)	(山形ゴルフクラブ、ホテルメトロポリタン山形)
8.21	平成21年度 知事懇談会(会長、副会長、事務局長出席) 内容山形県内の建築の現状について ・住宅着工件数の大幅な減少 ・仕事量の減少と労務単価下落による技術者育成の困難 山形県の10年間の投資的経費の状況について	(山形県庁 知事室)
10. 8	平成21年度 正副会長・施工調査研究委員会勉強会	(あこや会館)
11.10	平成21年度 第3回 理事会	(山形県高度技術研究開発センター)
12. 9	平成21年度 施工調査研究委員会	(山形県建築会館)
12.11	平成21年度 講演会・会員交流会 講師:衆議院議員 予算委員長 鹿野道彦氏 演題:政権交代 平成の大改革 これからの公共建築投資のあり方 (参加者 講演会70名、講演会45名)	(パレスグランデール)
22. 3.11	平成21年度 第4回 理事会	(山形県高度技術研究開発センター)

3 全国中小建設業協会関係

21. 5.21	平成21年度 第1回 通常理事会	(東京 朝日生命ビル)
6. 5	平成21年度 第2回 通常理事会	(東京 朝日生命ビル)
6. 5	平成21年度 通常理事会	(東京 朝日生命ビル)
6.24	平成21年度 第3回 通常理事会	(東京 朝日東海ビル)
10.21	平成21年度 事務局長会議	(東京 朝日生命ビル)
10.22	平成21年度 建設業振興対策委員会	(東京 朝日生命ビル)
11.24	平成21年度 広報委員会座談会	(東京 KKRホテル東京)
11.24	平成21年度 若手経営者懇談会	(東京 KKRホテル東京)
11.26	平成21年度 建築委員会	(東京 朝日生命ビル)
22. 3. 3	平成21年度 第6回 通常理事会	(東京ステーションコンファレス)
3. 3	平成21年度 評議員会	(東京ステーションコンファレス)



平成22年度山形県建築協会事業計画

総務委員会

- ①総会・新年会の開催
- ②理事会の開催
- ③正副委員長会議の開催
- ④表彰に関する業務
- ⑤会報「アトム」の発行及びホームページの運営
- ⑥建築協会のPR活動
- ⑦会員及び賛助会員の募集

企画情報委員会

- ①会員親睦事業の実施
- ②会員懇談会の開催
- ③関係法令の周知徹底と適正価格受注の推進

施工・調査研究委員会

- ①施工物件の視察研修と安全パトロールの実施
- ②安全教育・研修の実施
- ③行政との懇談会の実施
- ④行政側の建設業に対する政策の調査研究
- ⑤賛助会員に関する業務
- ⑥その他調査研究に関する業務

社団法人全国中小建設業協会

新年若手経営者座談会

山形県建築協会も参加している社団法人全国中小建設業協会で開催した『新年若手経営者座談会』に、佐藤靖之理事が参加し、今年元日号に掲載されました。(以下は「全中建だより」2010年1月1日号よりの一部抜粋です)

景気の動向と地元における建設業の現況

佐藤 本当に厳しいという状況は間違いのないところです。この前の補正予算で後押しがあって、公共工事も大分、出ていましたが、政権がかわって、また、もとどおりに戻ったということです。

ちなみに山形県では平成11年度の投資的経費予算が1459億7900万でしたが、平成20年では687億4000万円に減っています。――略――業者数が多いとはよく言われますが、あまりにも急激な予算の圧縮で本当に厳しい状況が続いています。

(司会) 全般的にはいわゆるピーク時から比べるとどれくらいのパーセンテージになりますか？

佐藤 これは県だけの予算ですが、建築においては4.8%で、全体で言えば47.1%になっていまして半分以下です。

ダンピングの現況について

佐藤 当社は、隣の宮城県にも営業所がありますが、山形県と宮城県とはちょっと違いますね。宮城県では、予定価格の半分ぐらいとか60%とか、そんな感じが多くなっています。それで、低入札調査になるんですが、結局は、ほとんどが落札というおかしなことになっています。

ただ、国土交通省は、ダンピング防止ということで、低入札と特別重点調査という2段階があって、特別重点調査になると、ほとんどが失格です。そんな状況で一応カバーしてもらっていますが、自治体の方は

全然関係ありません。

今後の建設業の方向

佐藤 当社は建築100%でやっている会社ですが、民間工事に力を入れてやってはいるものの、現在は官公工事に頼らざるを得ない状況が続いています。

――略――例えば住宅建築をやろうとすると、建設業とはまた別の業態にしなくてはならないと思います。――略――周りを見ても、いろいろ業種転換をしている会社もあります。東北ですから、農業分野に進出している会社もありますが、ほとんどがうまくいってないのが現状です。

老健施設といったものを経営される方も出てきていまして、そういった方は、まあまあうまく回り出しているようです。当社はしっかりと建設業としての建築工事を行う会社として今後もやっていこうと考えています。その中で環境などのキーワードを考えて、建設業の新しい分野にも進出していかなければならないと考えているところです。

他にも各地域の若手経営者が現況や見通し、興味深い提案等が4ページにわたって掲載されています。山形県建築協会事務局に掲載号がございますので、興味のある方はお越しいただき閲覧ください。

一般社団法人

山形県建築協会

(社)全国中小建設業協会 加盟

会員募集

常時会員を募集していますので、ご入会ご希望社は事務局までご連絡下さい。

山形県建築協会事務局

山形市城北町一丁目12番26号(山形建築会館内)
TEL023-647-6131 FAX023-645-0855

編集後記



劇的な政権交代から10カ月が経とうとしています。「コンクリートから人へ」という意味不明のキャッチフレーズで、快刀乱麻、大鉦を振って「コンクリート」を切り捨てる……。ちょっと待って！その「コンクリート」も「人」が創っていますよお。

総務委員会